



例年にない程暖かい気候で始まった今年の12月…暖かいと思ったのも束の間、一挙に寒さが厳しくなり、大人もですが、特に幼い子ども達にとってはとても体に応える寒さになっていますね。案の定、我が家の次女も鼻水が出始め、あっという間に咳に変わり、そして発熱しました。そんな時我が家では必ず行われる“どちらが休むか会議”。主人と私、2人ともお互いに仕事の事情を抱える中、直近3日間ほどの予定を確認し合います。そして、出勤できる日には、看病を相手に任せ、どんなに遅くなったとしても、お互い休む日に向けて、できるだけの事をしてから帰るというルールになっています。時にはお互いにどうしても休む事が出来ず、「さて…どうする…?!」と気まずい空気が流れる事も。そんな時には、どうして休む事ができないのかプレゼンし合う私たち…。

本当は、我が子が体調の悪い時位、何も気にせず、ゆっくり近くにいてあげたいのが本音。けれども様々な家族の在り方がある中、各々の事情を含めて、それぞれに合う形を見つけていく事が大切なのかなと思ったりもします。それがどういう形であれ、家族間で納得し、お互いに心地良く過ごせるのであればOK!だと私は思います。“本当はこうしてあげたい”という思いを抱えながら過ごすのはもちろん心苦しい時もありますが、子どももよくわかっていて、「きょうはパパとママどっちがやすむ?」と自ら聞いてくるようになりました。子どもの中でも“ほんとは〇〇”と言う思いがあるかもしれません。きっとあると思います。本当に、心から「いつもありがとう」のひと言につきます。一緒にいられる時間が短い分、一緒にいられる時はじっくり一緒にいようね!たくさんグューしようね!

これを読んでくださっている方々はどんな形で日々をお過ごしでしょうか。一つの形に囚われず、その時々に応じて形が変わっていてもいいのかなと個人的には思っています。何か良い方法があればぜひ教えて下さい。毎日子育てお疲れ様です!

